

介護部会 横浜北部②ブロック会議議事録

- 日時 : 令和4年7月25日(月) 15:00~16:00
- 場所 : 各施設 (zoom リモート会議)
- 出席者 : 碓井・中島 (横浜あおばの里) 萩原 (リハビリートわかたけ)
※出席予定6施設中、新型コロナウイルス感染症の影響により4施設より欠席連絡あり
- 議長 : 碓井 (横浜あおばの里)
- 書記 : 中島 (横浜あおばの里)
- 議題 : 1. 次世代育成について (人財育成)
2. LIFE 導入からフィードバック情報の活用について

議題1. 『次世代育成について (人財育成)』

リハビリートわかたけ: 新人は1か月研修があり、研修後現場配属。1~2年目も研修制度を設けている。

横浜あおばの里: クリニカルラダー研修というレベル別の研修(講義形式)を実施しているが、現場実践に活かされているか否かの評価が不十分である。

議題2. 『LIFE 導入からフィードバック情報の活用について』

リハビリートわかたけ: LIFEに関する現場レベルでの話し合いは継続的に行っているが、フィードバック情報は分析レベルに止まっており、活用に向けては課題が残っている。今後はケアの質を高めると同時に利用者様がより生活しやすい環境作りにも繋げていきたい。

横浜あおばの里: フィードバック情報は自施設の傾向分析に止まっており、個別レベルには至っていない。当施設ではLIFE導入を機に改めてPDCAサイクルの循環を図りながらケアの質を高め、実践内容を記録としてしっかり残していきたいと考えている。

■その他 (意見交換)

≪リハビリートわかたけより≫

職員の家族内でコロナ感染者が出て濃厚接触による欠勤が増え毎日勤務変更を行っている状況であるが、業務の削減等を行っているか?

リハビリートわかたけ: 入浴時の誘導及び更衣介助に時間がかかる為、週2回から1回にさせていただき、代替えもなしとしている。

横浜あおばの里：業務内容の優先度を考慮し、「今、本当にこの業務をやるべきか否か」を考えながら業務内容を見直し、ケアの質担保を心掛けている。

≪横浜あおばの里より≫

当施設ではコロナ禍の影響も重なり、職員の定期面談が十分に行われていない為、他施設の実施状況を聞かせていただきたい。

リハビリートわかたけ：問題のある職員は3者面談を1、2回行っている。基本、キャリアデザインシートを使用し、各ユニットリーダーが定期面談を行い、リーダーの面談は主任が年2回行なっている。

横浜あおばの里：各フロアチーフが目標管理シートを使用し、個別に面談を行う事になっているが実施状況はフロア毎でまちまちである。フロアチーフの面談スキルの問題もあるが、面談の目的と重要性（気づきの促しやモチベーションへの働き掛け等）を再認識し、職員満足度を上げ、定着率向上に繋げていきたい。

■次回の「テーマ」について

欠席者多数により今回と同様のテーマで開催予定とする。